

# 県外派遣審判員報告書

作成日 30 年 8 月 8 日

大会名	九州中学校体育大会		会場	別府アリーナ	
期間	平成30年8月4日～6日		報告者	森山 知佳	
スケジュール					
期日	内容			場所	
8月4日(土)	17:00～	審判会議		別府アリーナ	
8月5日(日)	10:00～	1回戦	今津 対 鍋島		
	15:20～	2回戦	コザ 対 三股		
8月6日(月)	12:40～	決勝	菊陵 対 二島		
レクチャー・審判会議の内容					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・監督会議での伝達事項</li> <li>・今大会は、旧ルールでの実施</li> <li>・熱中症に気を付ける</li> </ul>					
実技	割り当て	女子1回戦	今津 対 鍋島	U1	相手 一ノ瀬(長崎)B級・澤邊(熊本)B級
<p>○ゲーム前(プレカンファレンス)</p> <p>3POメカを図や映像を使って確認、ローテーションを積極的に行う、クロックの管理、コミュニケーションの取り方(声やアイコンタクト)等の確認を行った。</p> <p>○ゲームの実際</p> <p>両チームともビッグマンがいるわけではなく、ドライブが中心となった。どちらも、リバウンドやルーズボール、ボールマンに対して頑張るチームだったので、バタバタしている時間に整理するべき場面があった。3POメカが大きく崩れた場面はなかったが、確認不足で2リードになってしまった場面が1ピリで数回あった。ゲームの流れや個人の技術に合わない笛が数回あったが、最後まで勝敗が分からず、ダブルオーバータイムであったが、非常に良いゲームであった。</p> <p>○ゲーム後(ポストカンファレンス) 主任 川原 氏( ) 級</p> <p>大きく何かがあったわけではないが、プライマリの再確認をする必要がある。セカンダリの意識や、自分の位置やアングルをもっと明確にする。リバウンドの所の整理をもう少し出来ればよかった。ゲームの中で何本か笛にするのを我慢してみる時間も必要。</p>					
実技	割り当て	女子2回戦	コザ 対 三股	U2	相手 森田(長崎)A級・津留(熊本)B級
<p>○ゲーム前(プレカンファレンス)</p> <p>3POメカを図や映像を使って確認、ローテーションを積極的に行う、クロックの管理、コミュニケーションの取り方(声やアイコンタクト)等の確認を行った。特に時計を誰が持っているのかをはっきりとさせる。表情やジェスチャーを交えて明確に。ダブルで鳴った時のコミュニケーションの取り方の練習。リードからは見えない部分のバイオレーションの確認の仕方を行った。</p> <p>コザの4番(センター)に対しての三股の守り方の確認。</p> <p>○ゲームの実際</p> <p>チームの特徴について話をしていたこともあって、予想しながらゲームに入ることができた。コザの#4に対して三股は2・3人と寄り守ろうとするが、それが良いのか悪いのか、判断が難しい場面があり、セカンドで吹いてもらった場面がいくつかあった。CCの森田さんが、ゲーム中丁寧にそして常々、アイコンタクト等を取ってくれたので安心してゲームに入ることができた。3人がしっかりと集中して出来たゲームであったが、プレッシャーがかかったときやリバウンドの所の整理をする必要がある。</p> <p>○ゲーム後(ポストカンファレンス) 主任 むくぞの 氏( B ) 級</p> <p>ローテーション等スムーズに行われていた。ダブルで鳴った時はそれぞれが落ち着いてコールに行っていたので良かった。声を使って判定出来ている。プレゼンも良いので自信をもつことが必要。</p>					
実技	割り当て	女子決勝戦	菊陵 対 二島	U2	相手 福岡(長崎)S級・樋口(大分)B級
<p>○ゲーム前(プレカンファレンス)</p> <p>3POメカの確認、両チームの特徴、プライマリエリア・アングル・アングルを取るための動き、基本的なことの確認を行った。</p> <p>○ゲームの実際</p> <p>両チームとも、始めから激しい戦いであり、ドライブが多かった。メカが大きく崩れる場面はなかったが、確認をせずに動いてしまい福岡さんから指示を受けてしまったのできちんと確認をした上で移動をする必要があった。ローテーションの積極性が少し欠けていたと言われたので、バスケの理解をもっと深める必要がある。試合を通して3人で吹いてしまったケースが数回あったので、プライマリの再確認をする必要があった。</p> <p>○ゲーム後(ポストカンファレンス) 主任 佐田 氏( A ) 級 駒田 氏( B ) 級</p> <p>プレゼンの工夫。スナップをきかせたプレゼンを意識する。プレゼンの工夫を心がけることで自分の自信につながるのでは。プレゼンやT.oに対して丁寧さを感じ、良い所でもあるが、タイムアウトの時は、クルーで話をする時間を増やし、必要最低限に抑えられるように。</p>					
全体を通しての感想					
<p>初日から3POであり、合計3試合吹かせて頂いた。中学生は全中終了までは旧ルールということもあり、ルールの再確認を行い望んだが、基本的なトラベリングの整理が曖昧になってしまった。コートの中・外関係なくコミュニケーションを図ることを意識した。そうすると割り当て発表の時に、沢山の方々に喜んで頂き、大変嬉しく思った。自分の自信にもつながったが、判定に関して分かっているのに遠慮してしまう部分があり笛に出来ないメンタルの弱さがあるので、そこを改善していきたいと改めて感じた。今大会は、U1・U2でしたがこれからはCCの機会が増えてくると思うので、場数を増やすこととバスケの理解を深め、プラスになる部分を増やしていきたい。</p> <p>最後に、このような機会を与えて下さった県審判委員会や、運営等さまざまな場面でお世話をして下さった大分県審判部の方々に感謝申し上げます。第48回九州中学バスケットボール競技大会の報告といたします。</p>					